

北マリアナ諸島海外安全対策情報
平成 30 年度第 4 四半期（1 月～3 月）

1. 社会・治安情勢

内政上特に大きな問題はなく政情は安定しており、治安情勢に特段の変化は見られません。一般的に対日感情は良好です。

2. 一般犯罪・治安情勢

当事務所が新聞報道等により把握している管轄地域内の当該四半期における犯罪種類別の発生状況（件数）は、殺人（0 件）、強盗（1 件）、暴行・傷害（3 件）、性犯罪（1 件）、詐欺（0 件）、麻薬（6 件）、侵入窃盗（2 件）、窃盗（ひったくり、置き引き、車上狙い等を含む）（3 件）、その他犯罪（1 件）です。

現金を狙った強盗が確認されていることから、銀行等において現金を引き出す際は、周囲に注意を払うよう心掛けて下さい。また、貴重品等を狙ったひったくりが確認されていることから、外出時は所持品の携行方法を意識した上で、周囲の状況、特に後方に対しても注意を払うよう心掛けて下さい。特に、夜間時間帯に人通りの少ない場所、街灯が無い又は街灯が暗い場所を歩行する際は必要以上に注意を払うことが肝要です。

最近の主な犯罪事例は次のとおりです。

●1 月 22 日午前、サイパン島中部ガロライ地区の銀行付近にて、用務を済ませたアジア人男性が、男性から呼び止められた上でナイフを突きつけられ、現金の入ったカバンを渡すよう要求され、これを拒んだところ、男性が被害男性の腕を切りつけ、落としたカバンから現金を取り出し逃走しました。

●3 月 21 日深夜、サイパン島中部ガラパン地区の路上にて、アジア人男性が歩行中、近寄って来た車両の後部座席にいた男性によって、旅券、現金等の入ったカバンをひったくられた。

●3 月 24 日夜、サイパン島南部ススペ地区の商店にて、何者かが窃盗目的で侵入し、ノート型パソコンと売上金を盗み、逃走しました。

3. テロ・爆弾事件発生状況

情報には接しておりません。

4. 誘拐・脅迫事件発生情報

情報には接しておりません。

5. 日本企業の安全にかかわる諸問題

店舗への侵入窃盗事件が発生しているため、短時間であっても店舗を空ける際は必ず施錠するよう心掛けて下さい。また、店舗内での窃盗事件も発生していることから、現金や携帯電話等の貴重品は客の行き届かない場所で保管する等の注意が必要です。